

# 第 4 回 与論町新庁舎建設計画に関する 住民説明会 会議録

会議名	第 4 回 与論町新庁舎建設計画に関する住民説明会
会議の日時	平成 29 年 8 月 30 日（水） 午後 7 時 40 分～午後 8 時 30 分
会議の場所	与論町地域福祉センター
説明者	山町長、庁舎建設検討委員会委員長 久留副町長、庁舎建設検討委員会副委員長 町岡教育長、事務局長 沖島総務企画課長、事務局 総務企画課 竹村
書記	事務局 総務企画課 竹村
出席者	42 名、(内庁舎建設検討委員 7 名)、役場事務局 13 名 合計 55 名

## < 会次第 >

- 1 開会
- 2 開会のあいさつ 山町長
- 3 与論町新庁舎建設基本計画について説明
- 4 質疑応答
- 5 閉会のあいさつ 久留副町長
- 6 閉会

## < 配布資料 >

- ・ 与論町新庁舎建設基本計画

## ■ 質疑応答

題	与論町新庁舎建設基本計画について
内容	<p>(事務局長) それでは、質疑応答に入ります。質疑のある方は挙手をお願いします。</p> <p>(住民) まず、庁舎の海拔は何mでしょうか。災害が発生した場合に、ヘリポートはこの施設でなくても近隣でどこか発着できるように、災害や緊急用に警察・消防が使えるようにどう想定しているのか。多目的スペース緊急避難場所は、机・イスが配置してありますが何人ぐらい避難できる人数を想定しているのか、配置してある机・イスはどのようにするのか。議場の傍聴席が 20 席で足りるのか心配しています。予算のところです、高い買い物なので損をしないでください。貴重な財源なのでちゃんとやってください。業者選定については、安いところを選ぶのであれば大手が入るのか、与論の色々な業者が入ったベンチャーにするのか、どう想定しているのか。大手が入ったら与論の働き手がどうなるの</p>

か、与論の住民がある程度潤うような方法でやるのか、選定の方法には関知しませんが、そういうことも想定しているのか、与論の人が喜ぶような形で進めていただきたいと思えます。

(委員長) 予定地の海拔については、32mでございます。県道が15mぐらいですので、約17m程上がって32mの場所を想定しています。ヘリポートの件ですが、施設的にヘリポートは考えておりません。総合グラウンド、コースタルをヘリポートとして指定していますので役場へのヘリポートの設置は考えておりません。緊急避難場所の人数についてですが、これまでの経験では台風時の避難先である砂美地来館という体育館では300人収容したこともあります。しかし、役場の緊急避難場所については、100人が限度かなと考えております。傍聴席の件は、隣の和泊町でも同じような意見が出たようで、当初10人の予定を20人にするというような設計のようです。本町でもこれまで、20人30人傍聴にみえた経験がありませんので20名が適当ではないかと思っています。業者の選定につきましては、極力地元の業者をお願いするという形で、何十年に1回の大きな工事ですので、地元にお金が落ちるようなシステムで進めてまいりたいと考えています。

(住民) このプロポーザル方式についてですが、第1回の住民説明会で全世界に一般公募したらと申し上げました。もちろん施工は町内の業者をお願いしなければと思っています。新庁舎は災害面も大事ですが観光施設でもあると思うんですよ。島外から与論に来たら、与論町役場はどんなところなんだろう、外観・デザイン・芸術性はおろそかにできないと考えているんですけど、どう考えているか。職員の駐車場台数を極力減らそう、そのためには徒歩通勤を推進する。先程のまちづくり懇談会でも教育長の話の中に通学路の安全確保があり、まずは通学路に歩道を整備する必要があると考えます。庁舎整備と関連付ければどうかと思います。与論島らしいデザイン・緑化空間とありますが、どのような種類の木を植えるのか、でっかい木を大木を育てましょう。

(委員長) 庁舎のデザインにつきましては、これから公募をして進めてまいります。予算的なこともあります。庁舎内検討会での職員からの意見に、与論らしく竜宮城みたいな庁舎を造っては等、色々な意見がありましたが現実的ではなく、どちらかといえば利便性に重きを置いて設計を進めて行きたいと考えています。職員用の駐車場ですが、段差が15m程あります。今のところあれだけの高さを埋め立てて駐車場にするには予算的に大変な負担がかかりますので、第一段目に公用車・第二段目に職員用の駐車場として段々に上げていければと思います。歩道につきましては、茶花小学校・茶花市街地からの避難所ということで車道と歩道を分けて高台に上がって行けるような形を考えています。この件につきましては、警察や茶花小学校、茶花の商店街の方等と協議して進めて行きたいと思えます。大きな木の植樹については、与論の象徴はガジュマルだと思っておりますが、2・30年経ちますと中が空洞になって台風の時は倒れて、庁舎や来庁者の車に飛んでいくこと

も考えられますので、より島にマッチした樹木を植栽していきたいと考えております。

（住民）プロポーザルというのは与論町で2回目なんですけど、選定作業はある意味大変難しい作業であります。選考委員になられる方には、色々なところから働き掛けがあります。町民に見えるような形で選考していただきたい。与論町全体を考えてこれがいいんだとオープンな形で選考することによって、みんなが納得できるような物ができるんじゃないかと思います。ガラス張りの過程の中で選考して欲しい、このように思います。

（事務局長）選考につきましては、透明性を確保して進めてまいりたいと考えております。

（住民）集落排水はきていますか。

（事務局長）はい、集落排水は診療所まできています。

（住民）DB設計・施工一括発注ですが、施工業者は地元と言われたと思いますが、地元で設計・施工をできる業者があるのかと思って、大手が入ってくるのかなとドキッとしたんですが、その辺をもう少し説明してください。

（事務局）設計・施工の中で設計につきましては町内にできる業者がいませんので、町からプロポーザルで発注する時には、設計ができる例えば一級の建築の免許を持っている業者等が条件になってきます。なので島外の単体企業が選定されて、そこと島内の建設会社が協力企業として組む場合、また、JV共同企業体として業者が何社か集まりまして出資をしてすることも考えられます。いずれにしても、設計は島外の業者がすることになると考えています。選定につきましては、募集要項の選定の中で地元の産業発展や育成の考え方や地元業者の役割等を入れ込んで、できるだけ島内の業者が仕事ができるような形に持っていきたいと考えています。

（住民）一括発注となると大きな設計も施工もできる業者、自分のところに設計事務所を持っている業者が受けて設計・施工をやる、どちらかという安くできるでしょうし工期も短縮できると思います。しかし、与論の場合は何十億という設計をできる場所はありませんので、設計だけ外の業者がやって施工は島内の業者で対応できますので、今まではそうだったと思います。それが、グループを組んでやってもいいんだということなんですね。

（事務局）そうです。

（住民）了解。

（住民）設計の前のデザインだけでも我々が思いつかないような素晴らしいデザインが出てくるかもしれませんし、デザインだけでも一般から公募することはできないのでしょうか。

（事務局）今回のデザインビルド方式でやりますと、基本設計・実施設計から業者がすることになります。この方式のいいところは、早い段階から設計する方と施工する方が、設計の段階から打ち合わせをして両方の意見がマッチした形で施工もできます。デザインに

つきましては、防災や利便性の面をプロポーザルの中では重視していくことになると思いますが、プロポーザルの選定では、技術力を評価してまいりますので、技術力の高い所が選定されると考えております。

（住民）工事費がちょっと安いんじゃないでしょうか。設計費も安いのが気になります。途中で上がらないのかな。

（事務局）㎡単価36万円で計上しています。和泊町より若干安くなっています。

（住民）素晴らしいものできますよう期待しています。

（事務局長）他にないでしょうか。それでは質疑を終了します。

## ○ 実施状況

